

種と苗から考える食の安全

元農林水産大臣・弁護士

山田正彦

2019年1月
TPP発効
牛肉の輸入量が急増



2019年3月
TPP発効後の2月
EU産豚肉5割増

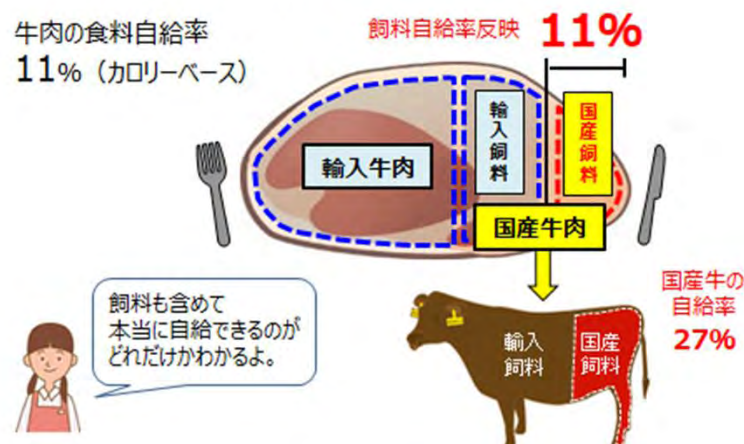


2020年1月
日米協定で牛肉急増



農水省は食料自給率の計算を改めた。(2020年)

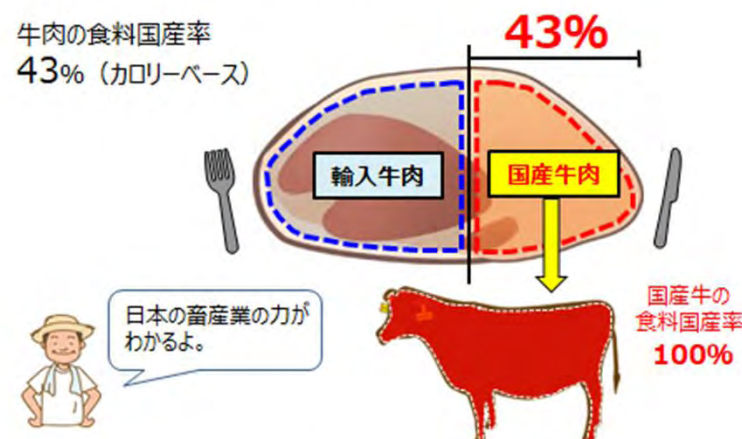
食料自給率 (飼料自給率を反映)



- ・国産飼料のみで生産可能な部分を厳密に評価できる。
- ・国産飼料の生産努力が反映される。

➤ 我が国の食料安全保障の状況の評価

食料国産率 (飼料自給率を反映しない)



- ・需要に応じて増頭・増産を図る畜産農家の努力が反映される。
- ・日ごろ、国産畜産物を購入する消費者の実感と合う。

➤ 飼料が国産か輸入かにかかわらず、畜産業の活動を反映し、国内生産の状況の評価

農林水産省HP「食料自給率とは」より

T P P 協定 米国離脱後の状況

日本はT P P 協定を批准して以後、この国会でT P P 協定に沿って国内法の整備に取りかかっている

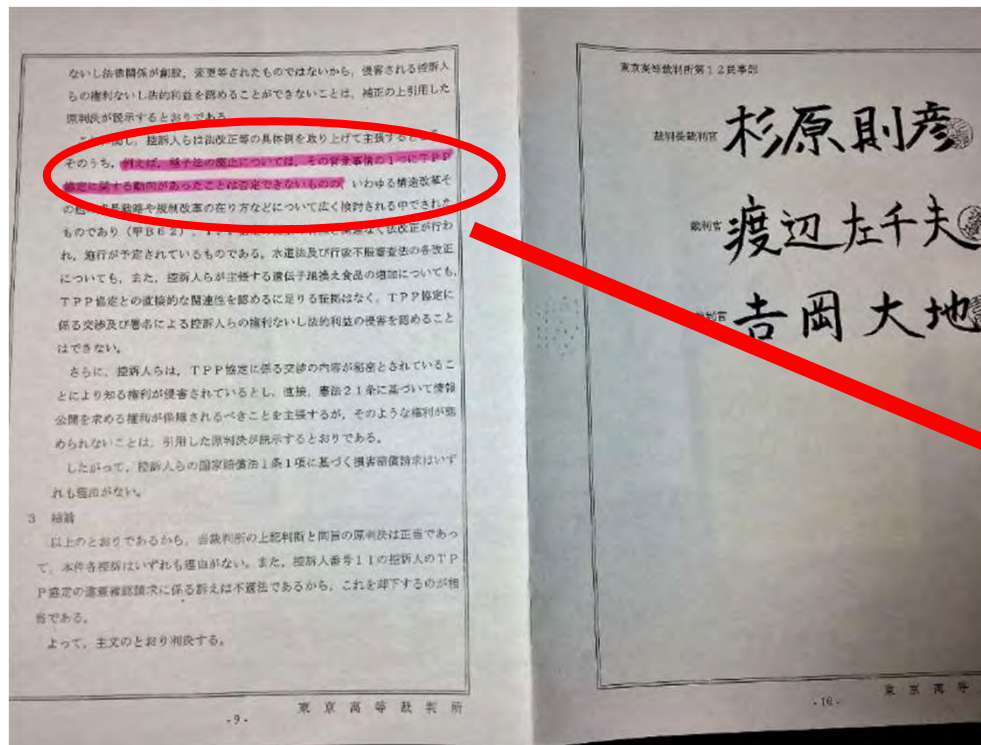
※韓国：米韓 F T A によって国内法 2 0 0 本を変更

- 主要農産物種子法を廃止
- 農業競争力強化支援法
- 水道法の改定（民営化）
- 官民連携推進法
- 種苗法の改定
- 農村地域工業誘導推進法
- 市場法の改正（事実上廃止）
- 漁業法改訂（漁業権を企業に）

この背景には、2016年日本がTPP協定に署名する時の日米交換文書がある。

「日本政府は投資家の要望を聞いて、各省庁に検討させ必要なものは規制改革会議に付託し、同規制改革会議の提言に従う」

TPP交渉差止・違憲確認等請求控訴事件 平成30年1月31日判決

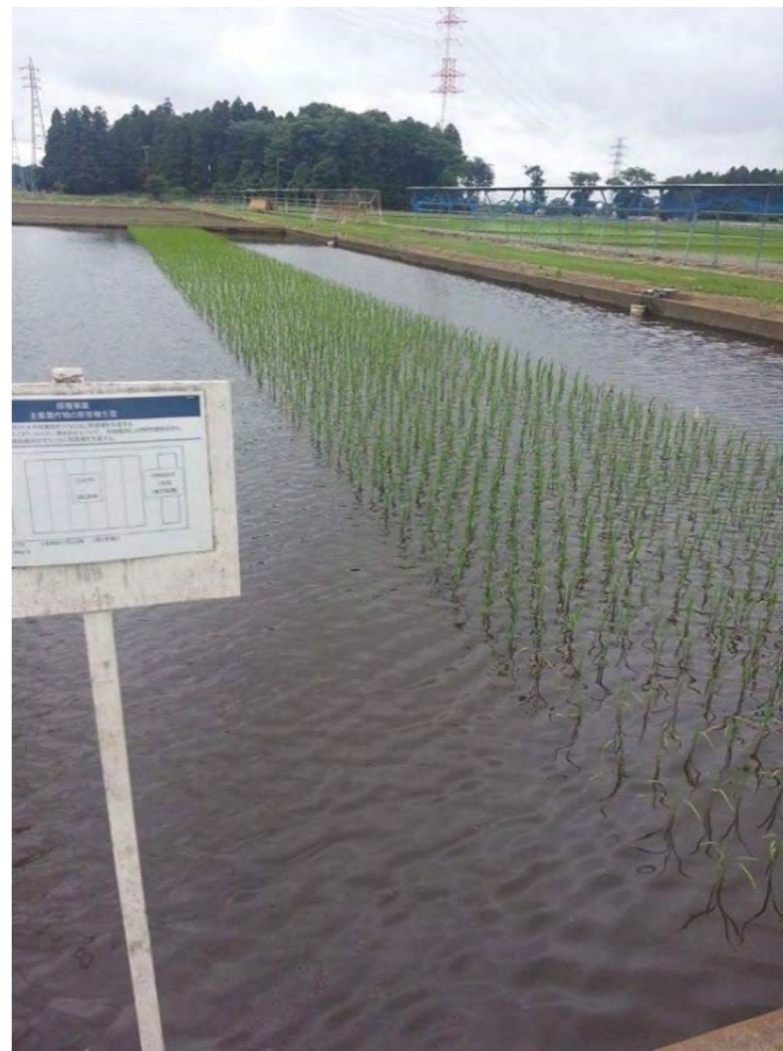


「・・・例えば、種子法の廃止については、その背景事情の1つにTPP協定に関する動向があったことは否定できないものの・・・」※一部抜粋

種子法があることで 日本のコメ、麦、大豆は守られてきた

- これまで日本の主食ーコメ、麦、大豆ーの伝統的な在来種は、種子法によって国が管理し、各都道府県に原種・原原種の維持、優良品種の選定、奨励、審査を義務付けてきた。
- コメの種子は各地の農業試験場で雑種の混入、不良な種を取り除いて、苗場農家を選抜して増殖させ、厳格に監査した優良な品種を公共品種として、県などが責任を持って（コシヒカリ等の品種を1キロ当たり500円等）安く安定して提供してきた。
- その地域に合った多様な品種（コメだけでも300品種）を提供してきた。種子法がなくなると、当たり前のように食べてきたコシヒカリなどが食べられなくなっていく。

農業試験場での原原種の栽培



11回にわたる異株の取り除き



種子センターによる種子の調整



みつひかり
(三井化学アグロ)



つくばSD
住友アグロソリューションズ
(住友化学100%子会社)



民間の品種みつひかりなどはF 1 の品種なので、
価格はコシヒカリの10倍ほど

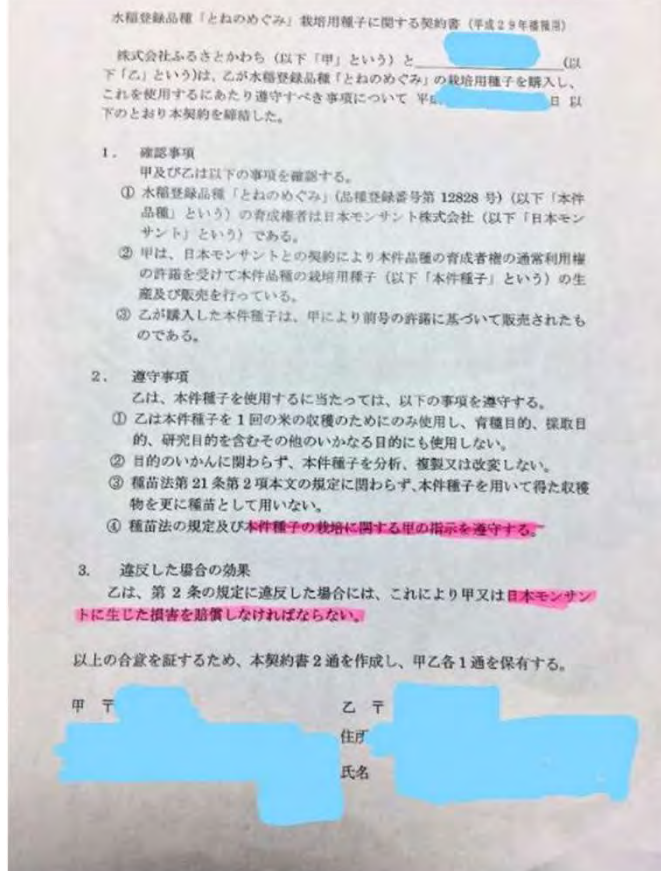
※) とねのめぐみ (日本モンサント)



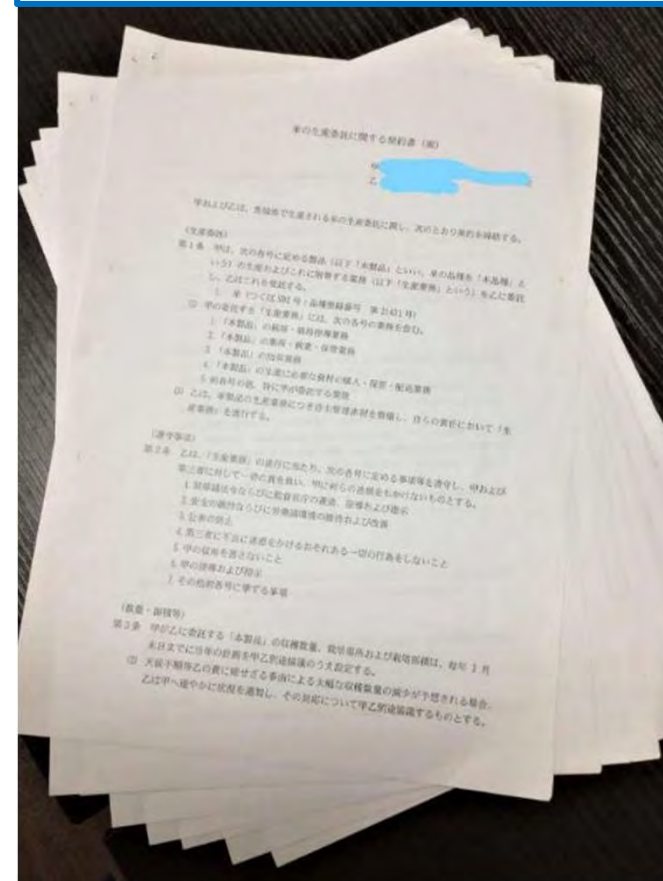
民間の品種はコシヒカリの1.2倍～4倍の収量があり、味もコシヒカリ以上であると宣伝。

生産者の多くが契約の内容を見ずに署名している

とねのめぐみ契約書



つくばSD契約書



↑種子と農薬と化学肥料のセット売り

日本のコメ農家が米国モンサント（バイエル）等へロイヤリティを支払うことになる！？

- 農業競争力強化支援法8条3項により、銘柄が多すぎるから集約する。
- 同法 8 条 4 項により、これまで日本が蓄積してきたコメ等の**原種、原原種、優良品種の知見をすべて民間に提供**することになっている。
- 住友化学、三井化学等の民間会社の背後には、モンサント、デュポン、シンジェンタ等の多国籍の種子産業がいるのでは？
- 民間が日本の貴重な種子の育種知見を応用して新品種の登録・応用特許を申請すれば、日本の農家はロイヤリティーを支払わなければ栽培できなくなる。
- すでに、メキシコの農家はトウモロコシ、フィリピンの農家はコメのロイヤリティをモンサントなどに払っている。

稲、麦類及び大豆の種子について（通知）

平成29年11月15日
農林水産事務次官

3. 種子法廃止後の都道府県の役割

(1) 都道府県に一律の制度を義務付けていた種子法及び関連通知は廃止するものの、都道府県が、これまで実施してきた稲、麦類及び大豆の種子に関する業務のすべてを、直ちに切りやめることを求めているわけではない。（中略）

民間事業者による稲、麦類及び大豆の種子生産への参入が進むまでの間、種子の増殖に必要な栽培技術等の種子の生産に係る知見を維持し、それを民間事業者に対して提供する役割を担う...

いずれ日本も遺伝子組換えのコメ・麦・大豆を作付するようになるのでは

- 既に2019年10月からゲノム編集の種子についても食品安全審査の手続きも必要なく、何の届け出もないままに農家に販売されることになっている。
- 政府はコメだけでも、コシヒカリなど70種類の遺伝子組換えの種子の一般圃場での試験栽培を認めている。いずれ本格的な栽培が始まる怖れがある。
- 飼料用米としてゲノム編集、シンク能改変イネの種子が用意されている。

《つくば 農研機構》



WRKY45



ゲノム編集





ゲノム編集は、EUなど各国で遺伝子組み換えと同じ規制が必要とされている。
(米国を除く)

日本農業新聞
2018年8月8日

ゲノム編集は遺伝子組換えの延長上の技術であり、人の命、健康に深刻な危害をもたらすものである



イグナシオ・チャペラ教授と（2019年8月末 サンフランシスコにて）

日本は遺伝子組換え農産物の承認大国に

TPP批准後急速に拡大

	2015年11月1日	2017年1月29日	2018年1月2日
日本	214	232	309
米国	187	195	197
韓国	136	149	164
EU	86	95	99
フィリピン	86	88	88
中国	60	63	64
ブラジル	50	60	68
ロシア	23	23	24
インド	11	11	11

今ではさらに増え
317種類
ダントツトップ

※印鑰智哉さんの資料より抜粋

ISAAA In Brief | ISAAA Programs | Knowledge Center | Biotech Information Resources | GM Approval Database | ISAAA Blog | Donat

/ ISAAA / GM Approval Database / Countries with GM Crop Approvals / Japan

GM Crop Events approved in Japan

Total: 317 events approved

Event Name and Code	Trade Name
Alfalfa - <i>Medicago sativa</i> : 5 Events	
Name: J101 Code: MON-00101-8	Roundup Ready™ Alfalfa
Name: J101 x J163 Code: MON-00101-8 x MON-00163-7	Roundup Ready™ Alfalfa
Name: J163 Code: MON-00163-7	Roundup Ready™ Alfalfa
Name: KK179 Code: MON-00179-5	HarvXtra™

ISAAAのデータベース <https://www.isaaa.org/gmapprovaldatabase/default.asp>

ホームセンターや100円ショップで家庭菜園用に販売中

に影響を与える可能性も指摘されています。それを受けて、15年にはオランダが「ラウンドアップ」を販売禁止し、まもなく、ブラジルでもグリホサートを含む製品について使用が禁止される。

「食卓」暮らしの安全基金」の代表でジャーナリストの小石順一さんが語る。

「日本の農家の間で広く使われているだけでなく、ホームセンターや100円ショップでも「ラウンドアップ」やグリホサートを主成分とした農薬の除草剤が販売されています。家庭菜園の流行もあり、一般家庭にもかなり普及しています。日本では野放し状態といっている内閣府の食品安全委員会は16年



世界でもっとも使用されている除草剤は、一般家庭でもかなり普及している

にグリホサートについて評価書をまとめている。

そこでは、神経毒性、発がん性、繁殖能に対する影響、遺伝毒性及び遺伝毒性は認められなかった」として、1日摂取許容量の基準を体重1kgあたり1mgとし、その量なら健康に摂取し続けても健康への影響がないとした。

日本はグリホサートの規制が緩いという現実

政府の見解について、平先生はこう話す。

「日本の農薬政策は、発がん性が否定できなくても、食品残留量が十分に低ければ、使用そのものは問題ないという考え方を基本としている。しかし、設定された1日の摂取許容量は、店で売られている

る食品を買って食べるだけの人も十分に達成可能な数字です。また、農作業などで「ラウンドアップ」を直接扱う人は、うっかりすると大量の曝露を自身や周囲にもたらす危険性があります」

前出の山田さんは、こんな指摘をする。

「ヨーロッパではグリホサートの使用禁止を求める市民運動に100万人が署名するなど「ラウンドアップ」の使用を規制する流れができています。そんななか、日本ではグリホサートの規制が緩く、国産大豆の乾燥の時間を減らすため、収穫前に「ラウンドアップ」を大豆に散布しているという事例もあります。乾燥作業が必要な米や小麦などにも今後、拡大していく可能性ががあります」

またグリホサートと同じ成分の除草剤が、ジェネリック品として広く販売されているなど、非常に危険しています」

モンサントは、今年ドイツの医薬品大手バイエルに買収されている。そこで日本モンサント広報部に聞いてみたところ「グリープ全体の意見としてですが」と、ことわりながら、次のように説明する。

「判決は、600以上にわたる科学的な試験結果と検証の事実により、グリホサートは発がん物質ではない、ジョンソン氏（訴えた男性）

喚起を行わなかった点が問題」と司法が判断したのです」

この除草剤については、同じような訴訟がアメリカで5千件以上起こされているという。平先生が「ラウンドアップ」の特性についてこう指摘する。

「ラウンドアップ」は、植物の成長に不可欠なアミノ酸の合成をストップさせて枯らす除草剤です。モンサントは、「ラウンドアップ」に接しても枯れない、耐性を獲得した遺伝子組み換え作物も販売し、多額の利益を得ました。

「ラウンドアップ」の主成分であるグリホサートについて、WHO（世界保健機関）が管理する国際がん研究機関（IARC）は動物実験によって、「おそらく発がん性がある」との判断を示しています。また発がん性以外にも腎臓障害、糖尿病、うつ、自閉症、肥満、アルツハイマー病などの関連も疑われています。さらに内分泌系をかく乱する作用があり、生殖機能

(49) 女性自身

がん発症リスクの除草剤が日本で野放しに

アメリカの悪性リンパ腫患者が起こした裁判で、メーカーに賠償金320億円支払い命令が



裁判整備をしていた末期がん患者男性（中）の主張が認められた



裁判の原告が頻りに使っていた除草剤は、日本でも売られている

裁判所は、男性の訴えを認め、モンサントに約320億円（2億8千万ドル）という巨額の支払いを命じた。

この男性は、学校の校庭整備の仕事をしていて「ラウンドアップ」を繰り返し使っていたという。農業問題に詳しい、東京女子医科大学東医療センター麻酔科非常勤講師の平久美子医師に解説してもらった。

「訴えを起した男性は、悪性リンパ腫の一種で、白血球が関与する非ホジキンリンパ腫を発症しています。日本の厚生労働省は、その発症要因として免疫不全、細菌やウイルス感染、除草剤、有機塩素系殺虫剤、放射線被ばくなどを挙げています。今回の判決は「ラウンドアップ」の影響があるかどうかかわからないことが多いと推測されますが、モンサント側が注意



「子供への影響を考え使用を控えるべき」と語る山田元農水相

喚起を行わなかった点が問題」と司法が判断したのです」

この除草剤については、同じような訴訟がアメリカで5千件以上起こされているという。平先生が「ラウンドアップ」の特性についてこう指摘する。

「ラウンドアップ」は、植物の成長に不可欠なアミノ酸の合成をストップさせて枯らす除草剤です。モンサントは、「ラウンドアップ」に接しても枯れない、耐性を獲得した遺伝子組み換え作物も販売し、多額の利益を得ました。

「ラウンドアップ」の主成分であるグリホサートについて、WHO（世界保健機関）が管理する国際がん研究機関（IARC）は動物実験によって、「おそらく発がん性がある」との判断を示しています。また発がん性以外にも腎臓障害、糖尿病、うつ、自閉症、肥満、アルツハイマー病などの関連も疑われています。さらに内分泌系をかく乱する作用があり、生殖機能

女性自身 2018年9月4日号

ジョンソン氏にインタビュー



2019年8月末 サンフランシスコにて

ロバート・ケネディJr弁護士に インタビュー



2019年8月末 サンフランシスコにて

各国のグリホサートの規制状況

- 全面禁止

サウジアラビア、クエート、アラブ首長国連邦、バーレーン、オマーン、オーストリア

- 部分禁止

スリランカ、ベルギー、フランス、バミューダ、デンマーク、イタリア、ドイツ、オランダ、ポルトガル、チェコ共和国、コンビア

- 禁止・規制した自治体

米国：100以上の自治体、アルゼンチン:400以上の自治体、インド：3つの州、その他、オーストラリア、ベルギー、カナダ、ニュージーランド、スペインなどの自治体で禁止・規制。
日本は福岡県宇美市、西東京市

日本はグリホサート残留許容量を大幅緩和

	改正前 (ppm)	改正後 (ppm)	変化
綿実	1 0	4 0	4 倍
トウモロコシ	1	5	5 倍
小豆	2	1 0	5 倍
小麦	5	3 0	6 倍
甜菜	0 . 2	1 5	7 5 倍
そば	0 . 2	3 0	1 5 0 倍
ごまの種子	0 . 2	4 0	2 0 0 倍
べにばなの種子	0 . 1	4 0	4 0 0 倍
ひまわりの種子	0 . 1	4 0	4 0 0 倍

2017年12月25日大臣官房生活衛生・食品安全審議官
「食品、添加物等の規格基準の一部を改正する件について」より抜粋

日本で流通している 主成分グリホサートの除草剤一覧

「小樽・子どもの環境を
考える親の会」のグリホ
サート製品販売中止を求
める運動で2万人の署名
を集める。

⇒2019年8月ダイソーカ
グリホサートを主原料と
する除草剤の販売を中
止！！

[illegible]

ロサンゼルスでは一般のスーパーで NonGMO、オーガニックの食品が溢れている



- 1 ドレッシングー有機認証のマーク入り
- 2 加工乳ー有機認証・NonGMOマーク入り
- 3 野菜売り場ー黄表示がオーガニック、黄緑がNonGMO
- 4 鶏肉ー有機認証、NonGMO



大手 3 社の小麦粉から グリホサートが検出された

(表1) 大手3社の小麦粉から
危険成分「グリホサート」が検出された

品種	分析結果(ppm)	生産者・販売者
全粒粉(バン用)	1.1	日清フーズ
薄力粉A	検出せず	
薄力粉B	痕跡	
強力粉	0.09	
天ぷら粉	痕跡	日本製粉
強力粉A	0.37	
強力粉B	0.179	
薄力粉A	痕跡	
薄力粉B	痕跡	
天ぷら粉	痕跡	
強力粉	0.186	昭和産業
天ぷら粉	検出せず	

測定は農民連食品分析センター
ppmは100万分の1。検出下限値は0.01ppm。痕跡は0.01ppm

←女性自身：2019年1月29日号

↓女性自身：2019年1月9日号

品名	価格(円)
ワイン(チュニジア)	0.054
ワイン(ロシア)	0.021
ワイン(ルーマニア)	0.021
ワイン(ブルガリア)	0.015
ワイン(フランス)	0.012

[illegible][illegible][illegible]

企業名スクープ公開!

[illegible]

種別	5分制スコア (point)	達成率 (%)	備考
全技能(15分用)	1.1		目標7.1点
漢字力A	検出せず		
漢字力B	音読		
読解力	0.09		
文法力	低防		
漢字力A	0.37		
漢字力B	0.179		
漢字力A	低防		目標7.1点
漢字力B	低防		
文法力	低防		
漢字力A	0.186		
漢字力B	検出せず		目標7.1点

※5分制スコアは5段階評価で、0.09は0.10より、0.179は0.18より、0.186は0.19より

[illegible][illegible][illegible]